

令和7年度図書館そだて会議（蒜山図書館） 議事録

日時：令和7年10月24日（金）
14時～15時40分
一般参加者：9人、図書館：7人

1. 開会(館長)
2. 参加者自己紹介
3. 今年度の蒜山図書館の取り組みについて
図書館から報告、意見交換

※別紙「蒜山図活動報告 2025」参照

- ・ 前回のそだて会議で提案のあった講座を開催した。（ふるしきの包み方、法話会）
 - ・ 10月26日に蒜山地域の方に講師になっていただき、「アイシングクッキー教室」を開催する予定。
 - ・ 令和5年度のそだて会議で提案のあった「一箱図書館」は現在も継続中。
 - ・ 館内に、新しく簡易ツールを設置した。
4. 来年度の蒜山図書館の取り組みについて
意見交換、アイデア出し
- ・ 蒜山図書館は狭い。館内で調べ物をしたりする場所が足りていない。とくに、資料を広げられる場所がない。
→外のスペース（ロビー）を有効活用する。（資料の持ち出しは可能）
 - ・ イベントや講座など、公民館的な機能が求められている。ただし、それだけではなく図書館としてのあり方も子どもたちに伝えていく必要がある。
 - ・ 調べ物をするとき、館内には図鑑（植物）など見たいものがない。探せない。
→蒜山で所蔵しているものは古く、閉架にしまっているものも多い。一緒にお調べするので司書に声をかけてもらいたい。（司書に声をかけて、と掲示する？）また、新しい資料に買い替えていきたい。
 - ・ 今は振興局の中に図書館が入っているが、公民館と図書館の複合施設を別に作ってほしい。図書館のスペースに振興局側の声が丸聞こえで、かなり個人的な話をされていることもあり気まずい。
→施設を新しくするのは難しい。振興局と図書館の境をもう少し分けられないか検討する。
（境界をビニールカーテンやパネルでギリギリまで仕切るなど）

- ・ 靴を脱がずに図書館まで入れるのがいい。移転前の蒜山図書館は入口で靴をぬぐ必要があった。
- ・ 上映会が好評。常連の参加者も増えている。

【イベント・講座案】

- ・ 調べ物をするときに、デジタル媒体で調べたいが、やり方が分からないシニア世代がいる。使い方を学ぶ教室を開いてほしい。(中高生が相談員になる案も)
- ・ 中央で開催した「おしん」一挙放送の上映会が参加者も多く好評だった。蒜山でも開催してみてもは。
- ・ モンペを作る教室。
- ・ 七輪で食べてみよう。
- ・ 中央で行っていた「まあぶる図書館」(ユースセンターまあぶる)
- ・ 「司書に聞いてください」アピールをしてみてもは。

【その他】

- ・ 子育て世代からの要望※別紙参照(蒜山親子クラブより提供)
→親子向け上映会の際、乳幼児の参加を歓迎していて、その用意があることをチラシなどでもっと大々的にアピールしてほしいという意見があった。すぐにでも可能なので、次回開催時には分かりやすく載せる。
- ・ 八束小・川上小からの要望※別紙参照(学校司書より提供)

5. 「真庭市図書館みらい計画」について

- ・ 「真庭市図書館みらい計画」改定に伴う概要説明
- ・ 「図書館そだて会議」の名称について
→「そだて」というのはとてもいい名称だと思う。
→「会議」とついていると構えてしまう。

6. その他

7. 閉会

以上